

ブンゲン敗退の記

諸準備を終え、8:00 頃に駐車場(第 1)を出発。

ゲレンデをシール登高して登っていると、パトロール員が近づいて来て、

- ・「ゲレンデ内を登り、ブンゲンへ向かうことはできません。登るなら、ゲレンデ外を行って下さい。」
- ・「奥伊吹スキー場からはブンゲンへは行けず、貝月山からブンゲンを目指して下さい。」

どうもゲレンデ内を利用するなら、スキーのみ OK のようだ。

し方がないので、以前ゲレンデ下部からブンゲン北西支尾根経由で頂上を目指したので、以前のルートを利用しようとする、また先程のパトロール員が来て「このコースもゲレンデ内ですから利用不可」と言われてしまった。

以上のことから、駐車場から北西支尾根へ取付こうと、スキー場外の第 3 駐車場の西外れに行き、シール登高を開始する。

向かいの尾根から以前の記憶を頼りに、眼下の沢へと下降した。スマホのジオグラフィカで現在位置を確認。河原の大岩に赤ペンキで” 445 ” と記されおり、以前もそうだったことにこのコースで間違っていないことに安堵した。しかし問題はこれからだ。

以前の時に比し積雪状況が悪くなく、地形状態も悪い。何とか北西支尾根に登り上がりたいので前進を試みる。しかし、不安定な積雪状況と地形はいっこうに変わらず、体力と” 頂上に行きたい！” というモチベーションはどんどん無くなり、時間だけが過ぎていく。

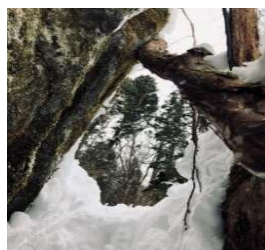
10:20「前へ進むのは無理だ！」と判断し、撤退することを決断し、何とか往路を第 3 駐車場まで戻る。

〔沢の状況写真〕

1 大岩に記された印



2 荷揚げ用の穴



3 不安定な積雪状況Ⅰ



4 不安定な積雪状況Ⅱ



〔敗因〕

✖情報収集-「以前のブンゲン状況と変わっていないだろう」と考え、近況確認を怠った。

- ・ゲレンデ内のシール登高
- ・積雪情報収集